

園児募集要項

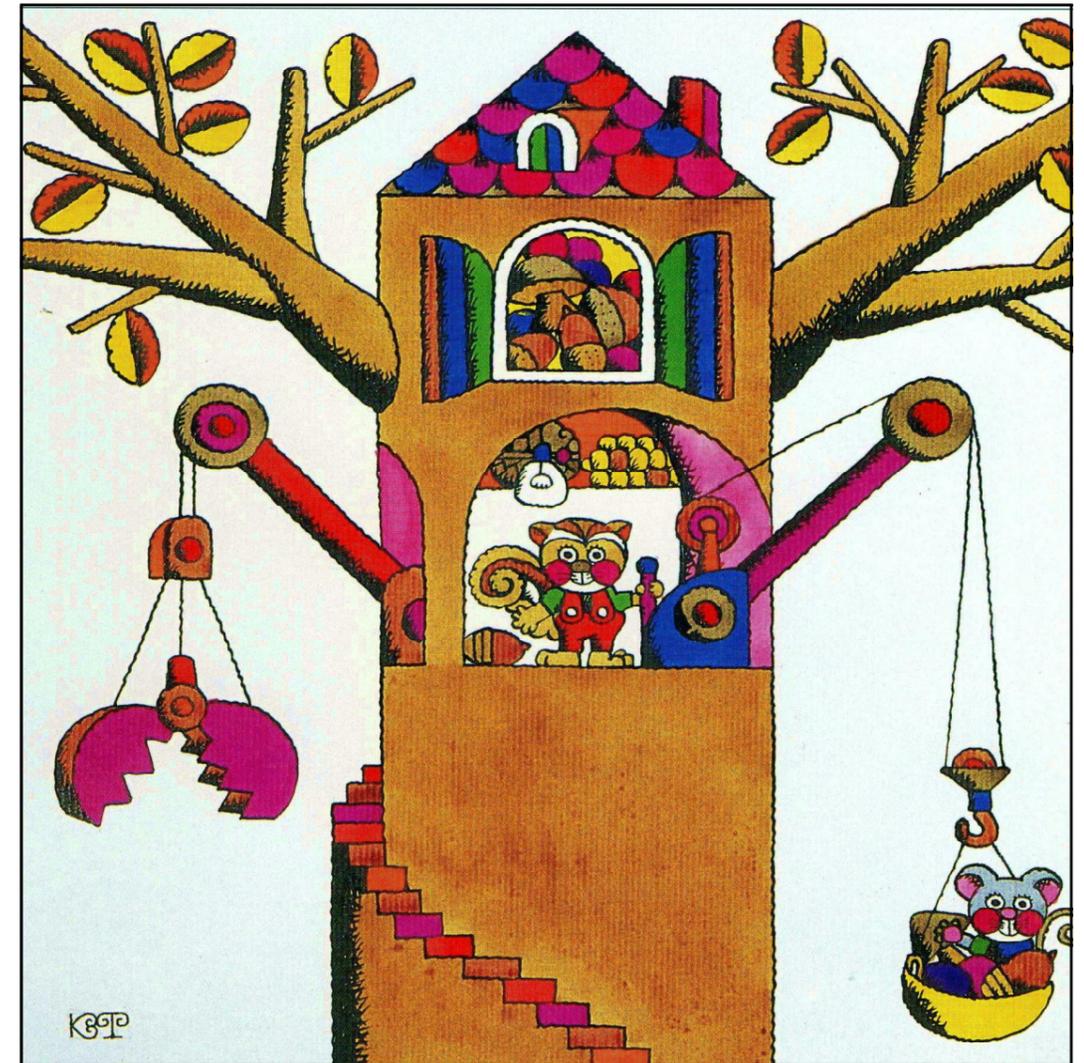
【卒園児がよく遊びにきてくれる幼稚園です】
”楽しい園生活の中で健康な心身の発育を目指す”

初めての集団生活は

“みづほ幼稚園”から

卒園してからも、“先生や幼稚園バス”に向かって“笑顔で手を振り、学生や社会人になってからも、幼稚園まで遊びに来てくれる”楽しい幼稚園です。

相手（他者）を思いやる心をもった、優しい子どもたちに育ててほしいと願い、友だちとの関係を大切にして指導しています。



—『令和8年4月から幼稚園型認定こども園』に移行します—

開園52年

幼稚園型認定こども園

札幌みづほ幼稚園

〒004-0011 札幌市厚別区もみじ台東2丁目5番

TEL(011)897-0025 FAX(011)897-1387

E-mail: yochien@miduho.ed.jp



Home Page



Instagram

令和8年度園児募集要項

1. 募集人員 ※ 来年度からの認定こども園移行に伴い変更される場合があります

1号認定こども 若干名募集（利用定員20名の予定）

- 満3歳入園児（学齢2歳児、当分のあいだ3歳児年少組クラスと統合保育）
- 年少（3歳児） 1クラス
- 年中（4歳児） 1クラス
- 年長（5歳児） 1クラス

2号認定こども 利用定員4名(予定) ※ **別紙1** を参考にして下さい
幼稚園の保育園部門となりますので、希望者は各**区**の**保健センター**へ申し込み願います

2. 所要経費 ※ 来年度からの認定こども園移行に伴い変更される場合があります

- ① 入園受付時……入園料等の費用は不要です
- ② 保育料、実費徴収等の詳細については重要事項説明書他をご覧ください
物価高騰対応のため、令和8年度から **冷暖房費 月額 500円**、**施設維持費 月額 500円** を徴収させていただきます

- ③ 個人持ち教材教具代金……昨年度は**15,000円**（年間補充分並びに月刊誌代含む）
※ 進級時の新規補充教材費は、進級毎に実費負担をお願いします
（海外情勢等により物価が高騰しており、費用については後日お知らせ致します）

- ④ 制服制帽代金（夏・冬分及びスモック・カラー帽）代……**実費13,800円**
※ ③・④については現品と引換えの後納入（制服→4月始・個人教材→4月末）
（消費税も10%アップし、価格も仕入れ単価上昇により改定の予定です）

- ⑤ 通園バス利用料金……園児送迎バス利用の場合は、**月額2,500円**を徴収します

- ⑥ PTA会費……半期毎、4月と10月に**1,800円**徴収致します。（PTA総会で決定）

- ⑦ 給食費……年間の給食費用を12等分して決定する。昨年度も**月額 1,800円(税込)**
※ 給食の詳細については**一日入園等**でお知らせいたします（業者と相談し決定）
《食材の価格及び業者が毎年変動しており、改定の可能性があります》
※ 副食費は生活保護、年収360万円未満の世帯及び第3子以降（基準あり）を対象に副食費（おかずなど）分を**月額4,500円を上限に補助されます**

- ⑧ **預かり保育は、保育の必要性が認められることを前提に11,300円までの補助があります**

※ ⑤⑦については、原則として**毎月郵便局預金口座から、口座振替**で納入して頂きます
入園受付後、転勤等で入園を取り消す場合は、速やかに園までお申し出下さい

- ⑨ **別紙1** を御一読頂き、御不明な点がある場合は、札幌市子ども未来局の各担当窓口へお問い合わせ下さい。
他市町村にお住まいの方は、該当の市町村にお問い合わせ願います。

- ⑩ この募集要項記載以外の臨時費用としては、親子遠足のバス代・入館料・入場料等の費用を実費負担して頂くのみで、日々の教育活動経費は、国の施設型給付金の中で賄います。

【補足】 願書と同時に配布した、**園則、運営規程、重要事項説明書は入園前によくお読み願います。** その他、幼稚園からの文書等についても大切なことが書かれていますのでしっかり目を通してください。

記載されていない内容については、勝手に判断せず必ず幼稚園までご相談願います。

4. 入園手続

- ・所定の入園願書用紙に所要事項記入→本園提出
- ・願書受付……**10月31日(金)** 10時30分より札幌みづほ幼稚園で行います

5. 入園許可

当園希望理由、心身の状況、その他諸条件を勘案して入園者を決定致します。
定員を上回る希望者がいる場合は、選考方法について願書受付日までにお知らせ致します。
入園願書は入園案内書類、園則、重要事項説明書、運営規程に全て同意した事の入園契約書です。

※ **心身に障害の疑いなどが認められる場合は、入園手続き前にご相談願います。**

また、入園前に医師等の診断書(判定書)と同意書・療育手帳等の写しが必要となります。
(上記の書類は、入園してから毎年必要になる場合があります。教育環境の整備の為協力願います。)
当園は札幌市幼児教育センターと連携し、特別支援児を健常児と統合保育しながら教育効果も上げようと努力しています。近年増加傾向にある特別支援が必要な子どもたちの受け皿整備及び教育環境を充実するため、予め相談をして頂く等の必要があります。特別支援教育は、世界の流れです。保護者の皆様のご理解とご協力をお願い致します。
(特別支援教育は、国、道、札幌市が推進し、幼稚園は症状を勘案して入園を認めています)

《 お子様の発達にご心配な方は、お気軽にご相談ください 》

6. 1日入園

お子さんが園に親しんでいくための一日入園と、御父母の皆様方を対象に入園についての心構え及び諸準備について説明会を行います。下記の通り予定しておりますので、入園が確定した方は必ずおいで下さい。

- 1回目………1月21日午後 2:40——(学級編成発表) 両日ともお子さんと共
- 2回目………2月25日午後 2:40——(制服等を渡す) においで下さい。
- 教材説明会……4月 2日午前10:00——(個人用教材を渡します)

7. 入園式 4月10日(金)

クラス編成について

※ 厚別区（特にもみじ台）の幼児人口は大幅に減少しております。

入園希望者の殆どの子どもを受け入れるように配慮致します。

来年度のクラス編成も、年少・年中・年長、各1クラスの計3クラスで運営させて頂く予定です。

この事については色々なご意見やご要望がありますが、『子ども子育て支援新制度』の認定基準を踏まえ、受け入れ人数と加配教員数で最大限調整させて頂きますのでご安心ください。

当園のような小規模園では、私学助成よりも園児一人当たりの教職員数が多くなっています。より多くの友達や先生方と接する環境も維持しながら、教育内容も従来どおり維持向上するよう努力していきますので 宜しくお願い致します。

保護者の皆様方のご理解をお願い致します。

バスコースについて

バスコースについてもよく問い合わせがありますが、新年度の在園者が決定する3月末頃まで最終決定できませんのでご了承願います。また、入園されたお子さんの住所により毎年時間やコースが変更になりますのでご理解をお願い致します。

— 園 長 —

◎ こ ん な お 父 さ ん 、 お 母 さ ん に

* ゆとりのあるお母さん

お母さんの気持ちが安定していると、子どもの気持ちも安定します。
親の気持ちが、子どもに移ります。極度に神経質であったり、その逆であったりしてはいけません。

* 過保護でないお母さん

世話をやき過ぎたり、すぐに物を買って与えたりしないで、我慢させる事も必要です。

* 子どもの人格を認めるお母さん

指示や命令ばかりするのではなく、子どもの言うことにも耳を傾けてあげましょう。

* 子どもの言いなりにならないお母さん

子どもの我慢を通すようなお母さんではいけません。自分で我慢のできない子どもになります。

* きびしく教えてくれるお父さん

いけないことは、「いけない」と強く言えることが大切です。

* 認め、励ましてくれるお父さん

「よし！もう少しだ」「頑張ったぞ」の一言は、心の支えになります。

* 一緒に遊んでくれるお父さん

散歩、山登りや相撲などで一緒に汗を流すことが大切です。

* 男らしさのモデルとしてのお父さん

男の子は、父親から男らしさを学びます。

* 子どもの状態を冷静に分析できるお母さん、お父さんに

子どもが育つ過程で様々な問題にぶつかります。状況を冷静に判断し、その問題から逃げずに、常にプラス思考で真正面から取り組む姿勢が大切です。

* 保護者同士のトラブルは早期解決が一番です

チョットした行き違い等で保護者同士のトラブルが発生する事があります。

こどもは小さくても親の心の動きに敏感ですから、それが元で友達関係が壊れる場合もあります。当事者以上に、子どもたちも幼稚園生活が悲しくなります。

これからはもっと考えが違う外国の人たちと、一緒に生活する時代が間違いなくきます。もしそうなれば、なおさら上手くやれなくなります。柔軟なものの考え方や人付き合いができることが、大切な子ども達の未来への教育だと思えます。

◎幼稚園や親は「子どもに何を教えることが必要か？」

人間は古来から集団で生活し、互いに助け合いながら今の繁栄を築き上げたことは、人類の歴史の上からも知る事ができる。本来人間は本能的に孤独な環境で育つことができない動物ではないでしょうか？

現在一年間に80万人前後の子どもが生まれていますが、年間200万人以上の人々が第1線を退き、日本は世界中の先進諸国と比較しても、今まで例のない早いペースで深刻な老人社会に突入するという、絶対に避けられない現実と直面している事は、保護者の皆さんが周知の事実です。

個人（利己）主義的な人間が増加している現在社会の状況を考えた時、これからの老人社会を支えるしっかりとした人間を育て、社会環境の悪化を招かないようにするためにも、心の教育が大切だと私達は考えています。

幼児期の子ども達は本能的に模倣しながら育つ力が強く、集団生活の良い環境中で人間として生きていく基礎的な能力を育てる絶好の機会であると考えられる。

しかし幼児数が激減する中で、子どもの遊びの人数構成も減少し、年齢が低ければ低いほど行動範囲が限られ、他の子どもと関わる機会が減少して、社会性が損なわれる原因の一つとなっている。このような子ども達の生育環境の中で、将来どの様な大人になって欲しいのか？、その為にはどの様な環境が必要なのか？、そして私達は何をすべきなのか？、その様に考えた時、幼稚園と家庭における幼児教育の大切さが感じとれるだろうと思います。

● 幼稚園は、皆さんのお子さんが成長し社会に出た時のために、人間として必要な「心情」「意欲」「態度」等、基本的な事柄が、お子さんの成長と共に育っていくようにお手伝いする所だと考えています。

● 子どもは親にとって「いつ迄も子ども」です。しかし、残念ながらいつ迄も面倒を見てあげられません。

● だから、「社会の中にとけこんで生活できるように」「善悪の区別が付くように」「困難にぶつかったら自分で解決できるように」「思いやりの心や感動する心をもてるように」等々、一人で自立していけるように、親や教師はともに協力しながら、子どもの自立を手助けしてあげなければならないと思うのです。

当園では以上のような事を考えながら、全ての子ども達が集団生活の中で素直に育っていくことを願い、日々の教育に携わっておりますが、子どもは一人ひとり「成長過程」も「個性」も全て違います。

従って、喧嘩があったり、困難な状況にぶつかったりする事も度々有るだろうと思います。しかし、このような様々な障害を乗り越えながら成長していくことが、子ども達の未来の立派な姿につながるだろうと思います。

子育ては、親にとって非常に難しい仕事のひとつかも知れませんが、あえて一生懸命取り組むことが、子ども達に明るい未来を与える事ができる唯一の方法だと思えます。

「お父さん」も「お母さん」も、子育てが楽しくできるように、子ども達と共に成長するつもりで私達と一緒に頑張りましょう。

【参考】

① プロシア（現在のドイツ）のフレデリック大王は、修道女に命令して乳児を食べ物や水を与えるだけで、『声』をかけたり『目』も合わせず、『スキンシップ』を一切しないで育てたらどうなるのか？、人体実験したそうです。

結果は全員育たなかったそうです。（全員死亡）

※ ドイツの祖と言われている王様だそうです。

親などから虐待を受けて育つ子ども達は、深刻な影響が必至です。

② アマゾンの奥地の裸族で、数の概念は3までしかなく、それ以上は沢山としか認識できない人種の子どもを3歳で普通の家庭で育てたところ無限大までの数字を理解する事ができた。しかし、7歳程度の子どもを連れて来て教育しても100ぐらいまでしか理解させることができなかったそうです。

③ 狼少女やジャングルで一人で生き抜いた野性児の例などに代表されるように、人間として育つ上で一番大切な幼児期に、人間社会で育つことができなかった子ども達は、最後まで一人の人間として社会復帰ができませんでした。

これらの事を考えると、幼児期は「人が人間として育つ」ための一番大切な時期なのです。【人間としての「心」が育つのは幼児期なのです】

21世紀を担う子ども達が「自主性がなく、いつも命令を待っているような、死んだ目をした人間」や「知識はあっても人の心を持たない冷血人間」にならないようにしたいものですね。

現代社会では高学歴を要求する風潮が強くなり、「知」が重視されている。「知」が重視されることが悪いわけではないが、バランス感覚の問題で、人間として、賢く、思いやりがあって、自分の意志をしっかりと持った人であることが大切だと思いませんか？。

頭が良いというだけで、本人や社会全体が幸せにはなれない。その頭が良く生かされるように育てなければ、本人も社会も不幸になる。従って、良く生かされる頭にしなければならないのです。

どんなに素晴らしい知識も、社会の中で生かされなければ何にもならない。社会の中で知識を生かすためには、人間としての「心」が必要だと思います。その「心」を育てるのは幼児期しかありません。皆さんはどのようにお考えになりますか？・・・。

保護者のみなさまへ

令和8年度受付

1. 入園資格

満3歳児保育
……令和5年（2023年）4月2日以降に生まれ、満3歳に達したお子様

3歳児保育
……令和4年（2022年）4月2日～令和5年（2023年）4月1日生まれのお子様

4歳児保育
……令和3年（2021年）4月2日～令和4年（2022年）4月1日生まれのお子様

5歳児保育
……令和2年（2022年）4月2日～令和3年（2021年）4月1日生まれのお子様

2. 日程

願書配布：令和8年10月15日（火）以降

入園受付：令和8年10月31日（金）以降

※ 令和8年度入園受付、令和7年度途中入園の詳細につきましては、園に直接お問い合わせください。

幼稚園と認定こども園

幼稚園

幼稚園は、小学校、中学校、高等学校、大学などと同じく、学校教育法に基づく学校なので、「学校教育は幼稚園から始まる」と言えます。どの幼稚園も、法令上、満3歳以上から小学校入学前までの幼児を対象にして、年間39週以上の教育を行っています。

教育活動は、文部科学省が示す「幼稚園教育要領」にしたがって、幼稚園教諭が行います。保育料を園が独自に定める私学助成の幼稚園と、札幌市が定める保育料を基本とする新制度（施設型給付）の幼稚園があります。また、現在はほとんどの幼稚園で預かり保育が実施されていますので、「仕事をしていても幼稚園」という選択が可能です。

認定こども園

認定こども園は、幼稚園と保育所の両方の機能をあわせもった施設です。学校および児童福祉施設両方の性格をもった幼保連携型、学校である幼稚園が保育所的な機能を備えて運営を行う幼稚園型などのタイプに分かれます。

幼保連携型では、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」にしたがって、保育教諭が教育・保育を行います。なお、認定こども園はすべて新制度の園ですので、札幌市が定める保育料となります。また、利用にあたっては、子どもの年齢や保育の必要性に応じて、1号認定、2号認定、3号認定いずれかの認定を受ける必要があります。

幼児教育

幼児教育の大切さ

幼児期の教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要なものです。各幼稚園・認定こども園は、単に子どもたちを預かり勝手に遊ばせているわけではなく、「幼稚園教育要領」「認定こども園教育・保育要領」にそって教育・保育活動を行っています。

その中で大切にしていることは、子どもたちが、遊びや生活の中で、自らの興味や関心にもとづいて主体的に環境にかかわり、直接的・具体的な体験を積み重ねることによって、「生きる力」の基礎となる心情・意欲・態度が培われるようにすることです。

近年、世界中の様々な研究により、幼児教育の重要性が認識されるようになってきました。幼児期に、点数では表すことができない非認知能力（意欲、好奇心、粘り強さ、自己制御、自尊心、人とかかわる力など）を育てることが、小学校以降の学びや人生の幸福につながると言われています。私たち教職員も、幼児教育の質の向上を目指して、日々、研修に励んでいます。

子どもをまんやかに

幼児教育は、幼稚園や認定こども園という施設だけで行うものではありません。家庭での教育も地域での教育も、幼児教育です。保護者のみなさまや地域のみなさまと連携を図りながら、子どもたちの成長を一緒に支えていきたいと考えています。

大人にとって何が良いのかという大人の都合ではなく、子どもにとって何が良いのかという視点を大切に。合言葉は「子どもをまんやかに」です。子どもたちの思いや願いを尊重していきましょう。

札幌市私立幼稚園連合会

札幌市西区宮の沢1条1丁目 札幌市生涯学習総合センター ちえりあ内
TEL.011-671-3590 FAX.011-671-3591